

## I. 中小企業振興策について

### 1. 地元企業への優先発注及び物品調達の変なる強化を要望します

#### 【回答】

水戸市が発注する建設工事については、これまでも市内に本社を置く地元業者への優先発注に努めてまいりました。今後につきましても、引き続き地元業者への優先発注に努めてまいります。また、物品調達についても、地元業者で取り扱うことができるものは、地元業者から調達するよう引き続き努めてまいります。 [担当 契約課]

### 2. 制度融資利子補給継続及びマル経融資利子補給の復活を要望します

#### 【回答】

自治金融などの制度融資の利子補給につきましては、厳しい財政事情ではありますが、中小企業の振興を図るため、引き続き平成 23 年度も継続してまいりたいと考えております。

また、マル経資金の利子補給につきましては、当初から時限的な制度としており、所期の目的を達したと考えられ、利用者が自治金融などに移行している傾向があることから、平成 20 年度末で廃止した経緯がありますので、御理解願います。 [担当 商工課]

### 3. 広域エリアにわたるプレミアム商品券事業の推進を要望します

#### 【回答】

プレミアム商品券につきましては、現在、市内においては南町連合商店会と見和・見川商店会が自主的な事業として行い、地元消費者に好評な事業となっており、本市といたしましても、その印刷経費等について支援しているところであります。

この事業の市内全域での展開は、これまで以上に消費者の利便性の向上が図られるとともに、地元購買を促進し、本市商業や地域経済活性化に寄与することが想定されますので、事業実施に向けて対応してまいります。 [担当 商工課]

## II. 中心市街地活性化策について

### 1. 県三の丸庁舎への市役所機能一部移転の早期実現を要望します

#### 【回答】

中心市街地のにぎわい創出に向けた人的活性化という視点とともに、市庁舎の狭あい化の解消という視点から、昨年 3 月に県に対して行った「茨城県庁舎跡地利用に関する申入れ」を機に、三の丸庁舎への市役所一部機能移転を目指し、4 階部分の使用について県との協議を進めてまいりました。

協議を進める中で、県において耐震診断を行った結果、4 階部分については撤去が望ましいとの方針が示され、これまで協議を進めてきた 4 階部分の使用については困難であることが明らかになりました。

しかしながら、中心市街地のにぎわい創出には、人的活性化が必要であることに変わりはなく、今後、県において耐震化の検討が進められる中で、県の意向、考え方を踏まえながら、1 階部分などへの市役所一部機能移転が可能かどうかも含めて、引き続き、県との協議を進めてまいりたいと考えております。 [担当 政策企画課]

### 2. 中心市街地再開発事業の促進について要望します

#### 【回答】

大工町 1 丁目地区再開発組合においては、平成 22 年 5 月に、株式会社長谷工コーポレーションと株木建設株式会社のグループと、特定業務代行基本契約を締結し、より事業採算性が高まるよう計画の見直しを行ってきたところであります。現在、再開発組合では、これまで進めてきた作業もほ

ぼ完了となったところから、平成 25 年度の工事完了に向け、平成 23 年 4 月に工事着手する予定としております。

中心市街地の西の玄関として拠点となる、この再開発事業が完成することにより、一層の人のにぎわい、交流の創出が図られ、活性化に大いに貢献するものと期待しております。

次に、泉町1丁目北地区につきましては、現在、準備組合において、都市計画決定に向け、導入施設やその他の事業化に向けた課題を整理しつつ、より実現性の高い事業内容とするための検証作業を急いでいるところです。

市といたしましても、いずれの事業も中心市街地の活性化及び元気都市・水戸の実現に向け、核となる重要な事業と認識しているところであり、引き続き、積極的に支援してまいります。

[担当 泉町・大工町周辺地区開発事務所]

### 3. 南町自由広場の活用方向具現化に向けた取り組みを要望します

#### 【回答】

南町自由広場として使用している土地の利活用につきましては、平成 23 年 1 月以降も、住友不動産株式会社等の事業計画と歩調を合わせながら、自由広場として利用できるよう調整してまいります。

[担当 市街地整備課]

### 4. 泉町駐車場の(財)駐車場整備推進機構の解散に伴う、コンセッション方式推進のための取り組みについて要望します

#### 【回答】

国の直轄駐車場である泉町駐車場の管理運営につきましては、全国 14 箇所の直轄駐車場の管理運営を一括して民間に移行する方針であり、これに基づき管理運営の枠組みや移行プロセス等の基本的事項について調整が進められているところでもあります。したがって、これらの国における民間移行の検討状況を引き続き注視し、適宜、情報の提供をしてまいります。

[担当 建設計画課]

### 5. 中心市街地における買い物難民対策の検討を要望します

#### 【回答】

中心市街地において高齢者を中心に生鮮食料品の調達に支障が出ている事例(フードデザート)につきましては、現在進めているひとり暮らし高齢者実態把握調査の結果などを基に、その実情について調査し、対応を研究してまいりたいと考えております。

また、事業化される際には、相互の情報交換や支援のあり方等について検討してまいりたいと考えております。

[担当 高齢福祉課]

### 6. 夜間における中心市街地の防犯・安全対策の強化について要望します

#### 【回答】

中心市街地における治安情勢の悪化につきましては、今後水戸警察署に対して防犯パトロール等の更なる強化を要望するほか、現在市内各地で活発に行われている一般市民による自主防犯活動団体に対し、帽子、腕章、ベストの防犯資機材を貸与する等の活動支援を今後も継続して実施してまいります。

また、水戸警察署においても、平成 22 年 8 月に水戸駅南口交番管内を「犯罪抑止モデル地区」として設定し、様々な対策が講じられているところです。

なお、夜間の安全を確保するため、市では町内会等が防犯灯を設置した場合、30,000 円を限度として設置費用の 2 分の 1 を補助する制度(設置等補助金)及び 4 月 1 日時点で町内会等が管理する防犯灯 1 基につき 1,000 円を補助する制度(管理補助金)がございますのでご利用ください

い。ただし、この制度は町内会等を対象としており、商店会等で設置管理する街路灯や装飾灯については対象としておりませんのでご了承いただきますようお願いいたします。

[担当 地域安全課]

### 7. 高齢者など交通弱者ができるだけ中心市街地へ足を運べる仕組みづくりについて要望します

#### 【回答】

暮らしやすい魅力ある都市づくりを進めるためには、市民や来水された皆様が安心して安全に移動できる環境を整備することが重要と認識しております。

水戸駅周辺の歩道整備やノンステップバスの導入を支援するなど、引き続き、高齢者や障害者等にやさしいバリアフリー環境の実現に努めてまいりたいと考えております。

また、本市では、本年度「バス交通実態調査」に取り組み、交通に関する地域の課題やニーズを把握するための市民アンケートを実施しております。活気あふれる中心市街地の再生のためにも、本市の公共交通の中心的な役割を担う路線バスの充実とともに、路線バスを補完する新たな交通システムとの連携による利便性の高い公共交通体系の構築を目指し、実態調査の結果等を十分に分析し、具体的な施策の検討を進めてまいりたいと考えております。[担当 地域振興課]

## Ⅲ. 観光振興策について

### 1. 水戸城三階櫓・大手門の復元について要望します

#### 【回答】

水戸城三階櫓・大手門の復元につきましては、観光客の傾向には、本物志向といったものもあることから、ご要望にありますような「オープンセット風」でお客様の期待に応えることができるのか、また、「水戸城三階櫓」と称することができるのか等、多くの解決すべき課題もあります。

また、教育委員会において大手門等の復元について調査が始まったところでありますので、建設等につきましては、発掘調査や市民意識の動向を慎重に見極めていく必要があると考えています。[担当 観光課]

### 2. 映画「桜田門外ノ変」オープンロケセット・記念展示館が継続利用できるよう要望します

#### 【回答】

映画「桜田門外ノ変」オープンロケセット・記念展示館につきましては、多くの方に来場いただき、観光資源として期待しております。

継続利用につきましては、映画化支援の会や茨城県などの関係団体等と調整を行い、公開期間を1年間延長することとしました。[担当 観光課]

### 3. 世界遺産登録に向けた旧町名の復活について要望します

#### 【回答】

本市では、昭和41年から昭和55年にかけて、住居表示・町名合理化を実施し、同時に市内107か所に歴史のある旧町名を表示した表示柱を設置するなどの事業を行ってきました。

また、町内会名等の名称には、今でも旧町名が使用されている実態があり、旧町名が依然として市民に愛着を持って根強く用いられていることも事実でございます。

一方、旧町名復活の動向については、全国に先駆けて金沢市において平成11年度に1町約30世帯で実施されましたが、この旧町名の復活には、住民、すなわち居住者の総意に基づくものが大きな要因であったと聞いております。

本市における動きとしましては、平成9年度に、新荘3丁目の住民の方々から477名の署名をもって、江戸時代に「新屋敷」の総称と呼ばれた地域の旧町名（梅小路、松小路、楓小路、柳小路、花小路、桜小路、桃小路）を復活させる陳情書が提出されております。また、新荘地区の新

屋敷（10 町内会）では、平成 19 年度に、住民の方々に対しまして、旧町名の復活に関するアンケートを実施し、さらに、年 1 回程度の懇談会を行っております。その懇談会の中で、旧町名の復活については、法人・事業所等の登録変更手続きや住民間における意見の相違などの諸課題が出ております。

このようなことから、本市としましては、引き続き、懇談会代表者と連携を図りながら、推移を見守ってまいりたいと考えております。 [担当 市民生活課]

#### 4. 黄門ミュージアムの中心市街地への設置を要望します

##### 【回答】

市内には、徳川博物館と義烈館の二つの黄門様ゆかりの博物館がございますので、「(仮称) 黄門ミュージアム」の設置につきましては、この二つの博物館を活用する中で、水戸市を訪れる観光客のニーズを捉え、中心市街地の賑わい創出に必要なあり方について研究してまいります。

いずれにいたしましても、博物館設置によって得られる経済効果等と、市の財政状況などを鑑みながら対応してまいります。 [担当 観光課]

#### 5. 水戸コンベンションビューロー運営支援及び補助金交付について要望します

##### 【回答】

「水戸コンベンションビューロー」の活動につきましては、地域経済の活性化に貢献するものと期待しているところであり、今後の運営状況や経済効果等と、市の財政状況などを鑑みながら対応してまいります。 [担当 観光課]

#### 6. 道場池（心字池）の市史跡指定と整備・保存について

##### ①水戸の史跡として整備・保存と観光パンフレット等への掲載

##### 【回答】

親鸞の直弟子で歎異抄の著者とされる唯円は、現在の河和田町榎本に道場を開いて修行し、稲田の草庵からたびたび訪れて滞在した親鸞とともに布教活動をしたと伝えられており、この地にわずかに残る池はこの道場の池といわれています。教育委員会におきましては、この地を記念し、平成元年度「唯円の道場池」という文化遺産説明板を設置いたしました。

今後、教育委員会といたしましては、「唯円道場跡伝承地」として保護を図るため、水戸市指定文化財（史跡）として指定すべく、地権者の同意を得て、文化財保護審議会に諮問し、調査検討を進めてまいります。 [担当 文化課]

観光パンフレットへの掲載等につきましては、道場池（心字池）は、十分な観光資源になりえると考えておりますが、現在未整備の状態であり、観光客を案内するには環境が整っていない状況にありますので、周辺整備にあわせ案内を行っていくべきと考えております。

[担当 観光課]

##### ②道場池周辺への駐車場の設置と入口・導入路の確保

##### 【回答】

道場池(心字池)につきましては、現在、市文化財としての指定に向けた作業を進めているところであり、今後、良好な水辺環境の形成に向けて、地域の皆様や関係部署等との協議をしながら検討してまいりたいと考えております。 [担当 公園緑地課]

#### 7. 千波湖の魅力向上に向けた施策について

##### ①千波湖周辺の安全に対する市民意識調査等

##### ②照明による生物等環境への影響調査等

### ③街路灯の設置等

#### 【回答】

千波湖畔のジョギングコースにつきましては、夜間にも多くの市民の皆様にご利用されており、これまでも照明設備等の充実を求めのご意見等をいただいております。現在、利用者の安全面を考慮しながら計画的に照明灯の増設を行っているところであり、本年度も照明灯を整備する予定となっております。なお、千波湖周辺の安全に対する意識調査や、照明が生物に及ぼす影響調査等に関しましては、関係機関等との協議をしながら検討してまいりたいと考えております。

[担当 公園緑地課]

## IV. 環境保全策について

### 1. 千波湖水質浄化の推進について要望します

#### 【回答】

千波湖の水質浄化につきましては、これまでに底泥の浚渫や那珂川からの暫定導水である千波湖水質浄化導水事業を実施しているほか、下水道整備の推進や茨城県の森林湖沼環境税を活用した高度処理型合併浄化槽の普及推進等といった施策により、当初計画の中間目標は達成しております。しかしながら、今なお夏場には千波湖や桜川下流でアオコの発生が見られ、依然として市民から改善の要望が強いのも事実であります。

このような中、市民を交えた協働事業として、平成15年度より桜川清流ルネッサンスⅡにおいて、市民、官公庁が一体となって、千波湖や桜川水系の水質浄化への取組みが開始され、桜川清流ルネッサンスⅡ行動計画に基づき、桜川クリーン作戦や環境学習会等を地域住民、ボランティアを中心に国・県の協力を得て実施し、市民の千波湖や河川を大事にしようとする思いが醸成されているところであります。

これらのことを踏まえ、引き続き市民主導で千波湖の水質浄化に取り組むために設立された「千波湖水質浄化推進協会」などの各種団体とともに、市民、国土交通省、茨城県及び水戸市を交えた事業を推進してまいります。

[担当 建設計画課]

### 2. 大塚池周辺水環境の整備について

#### ①大塚池に流入する各水路等の水質管理の徹底

#### 【回答】

現在、大塚池に流入する水路に接続する際においては、水質基準値を考慮した浄化設備の設置及び管理を行政指導しております。今後も、関係機関と連携して、大塚池周辺の水質環境の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

[担当 道路管理課]

#### ②水を循環させるなど自然環境に配慮した整備

#### 【回答】

大塚池公園につきましては、定期的な水質検査を実施しており、湖沼における環境基準をクリアしております。周辺地区における下水道整備の進展などにより、今後、さらに水質の改善が進むものと考えております。

[担当 公園緑地課]

#### ③「ゴミ捨て禁止」等の看板設置のさらなる拡充

#### 【回答】

「ゴミ捨て禁止」看板の設置につきましては、既存の看板が経年劣化していることから、公園景観を損なわないように配慮しながら、順次リニューアルしていきたいと考えております。

[担当 公園緑地課]

#### ④渡里幹線用水路から大塚池への通年導水の早急なる実現

##### 【回答】

渡里幹線用水路からの導水につきましては、経費や効果などの観点から、慎重に取り組む必要があるため、今後、関係機関等との協議を行ってまいりたいと考えております。

[担当 公園緑地課]

#### 3. 成就院池流出口の水質管理について要望します

##### 【回答】

当池は地元団体の協力のもと、サギ草の自生地復元やホタルの生息を目的とした水路整備や池の水を循環させるなど、公園的手法を取り入れながら自然環境に配慮した整備を昨年度完成したところです。今後の水質管理の徹底については、関係機関及び市民の意向を踏まえながら、引き続き水質の向上を図れるよう検討してまいりたいと考えております。

成就院流出口の水質管理につきましては、昨年以降、保守点検された浄化施設から適切に処理水が放流されているため、水質環境は改善されつつあります。今後も、関係機関と連携して、成就院池周辺の水質環境の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

[担当 農業環境整備課, 道路管理課]

### V. 基盤整備策について

#### 1. 逆川緑地内歴史広場の進入路拡幅について要望します

##### 【回答】

逆川緑地内歴史広場への進入路につきましては、引き続き、関係機関等と協議、検討してまいりたいと考えております。

[担当 公園緑地課]

#### 2. 笠原卸団地内交差点信号機設置について要望します

##### 【回答】

信号機の設置については、歩道の有無や道路幅員等の道路状況や、車両通行の状況、横断する通学児童、生徒の状況を含めた歩行者数等を勘案し、県公安委員会で設置が判断されるものであります。

市では、現場調査のうえ、必要と思われる箇所への信号機設置について、水戸警察署に対して要望してまいります。

[担当 地域安全課]

#### 3. 災害時の情報提供について要望します

##### 【回答】

防災対策にとって、情報は、平常時からの確に災害に備えるためにも、災害時、状況に即応した緊急対応や復旧等を行うためにも、最も基礎となるものと考えております。

災害が発生したときは、皆さん不安な気持ちになり、冷静な行動がとれないこともございますので、本市としましては、正しい情報を防災行政無線（常澄、内原地区）、電子サイレン（洪水のみ）、広報車による伝達、ホームページ掲載、市メールマガジン配信、エリアメール配信（市内のNTTドコモの携帯電話に対し、一斉に配信するもので、登録は不要です。一部古い機種は、受信できません。）、テレビ・ラジオを通してのお知らせなど迅速に対応し、被害の軽減に努めてまいります。あわせて、日頃から、災害時の情報伝達手段を市民の皆様へ積極的に周知してまいります。

今後につきましても、情報伝達手段の進展等を注視するとともに、様々な場面で情報の時間的、空間的空白が生じることがないように、防災情報システムの確立に努めてまいります。

[担当 地域安全課]

## VI. その他の振興策について

### 1. 流通拠点の整備促進について要望します

#### 【回答】

本市におきましては、これまで常磐自動車道の開通による地場産業の振興を図るため、中小企業や商工会議所等の要望を踏まえ、本市における流通拠点として平成元年に茨城県開発公社が「水戸西流通センター」を整備したところであり、入居企業の入れ替えはあるものの、現在 47 企業が操業しているところであります。

新たな流通拠点の整備につきましては、北関東自動車道の全線開通による市内への経済効果等の波及を想定し、平成 10～13 年度にかけて、水戸南インターチェンジ周辺地区への立地の可能性を調査、研究してまいりましたが、現在においても、ひたちなか市や茨城町など本市の近隣市町村において、県が造成した工業系団地の分譲も進展しないなど、経済情勢の悪化による企業進出が厳しい状況にあると考えております。

したがって、ご要望につきましては、今後の経済情勢や近隣市町村における工業系団地の販売状況等を見極めながら、慎重に検討してまいります。 [担当 商工課]

### 2. 「ケーズデンキスタジアム水戸」周辺整備を要望します

#### 【回答】

御要望のスタジアム入口への幹線道路からの案内表示、周辺道路、駐車場の整備でございますが、平成 21 年度に、案内表示として新たに競技場案内板を高速道路インター降り口付近 3 箇所に設置し、周辺道路整備については、競技場進入路交差点部に右折レーンを整備し、信号を設置したところでございます。

また、駐車場整備につきましては、現在、駐車場基本計画を作成中でございますので、その結果を踏まえ、来場者の皆様に御不便がないよう整備に努め、今後、大会時の車両の導線及び状況を再検証のうえ、各関係機関と協議をしながら検討してまいります。

[担当 スポーツ課]

### 3. 水戸ホーリーホックへの直接的な財政支援の検討を要望します

#### 【回答】

水戸市におきましては、市制施行 120 周年記念施設として水戸市小吹町にケーズデンキスタジアム水戸を J2 基準に適合するよう観客席 10,000 席を備え整備し、平成 21 年 11 月に竣工いたしました。水戸ホーリーホックにおいては、このホームスタジアムを活動拠点に、名実ともに「水戸」のチームとして活躍し、地域活性化により一層寄与できるよう努めていただきたいと思いますと考えております。

水戸市といたしましては、今後も、水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会を通して、クラブの支援を図るとともにチームの活力を生かした水戸の元気創出に努めてまいります。

[担当 地域振興課]

### 4. 金融犯罪の防止を図るための広報・情報提供について要望します

#### 【回答】

水戸市消費生活センターには、未公開株や転換社債などを含む架空請求詐欺等の「振り込め詐欺」の相談が依然として多く寄せられ、対応しております。

このような状況を踏まえ、金融犯罪の被害を未然に防ぐため、「広報みと」等による周知をはじめとして、出前講座、講演会等において啓発や情報提供を行っているところであります。

今後も、引き続き「広報みと」や講座等の中で被害防止に向けた情報提供及び啓発に努めてまいります。 [担当 市民生活課]

## Ⅶ. 関係機関へ働きかけをお願いする事項

### 1. 水戸駅北口のリヴィン跡地の早急な活用を要望します

#### 【回答】

リヴィン水戸店の跡地活用につきましては、これまで、再三にわたって、西友不動産部と旧リヴィン水戸店のオーナーの1人に利活用の進捗状況を確認しているところではありますが、西友からは、「店舗の活用等について、公表できる段階までは至っていないが、複数の業者等との協議を行っている状況にある」と伺っております。

本市といたしましても、一日でも早く跡地の利活用が図られるよう、引き続き粘り強く働きかけてまいりたいと考えておりますので、貴所におかれましても、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

[担当 商工課]

### 2. 国道50号線の大塚町～水戸駅区間の市道への変更について要望します

#### 【回答】

国道50号は、地域間を連携する主要な国道の一つであり、また本市においては、中心市街地の都市機能を支える幹線道路として、非常に通過交通が多い路線となっております。

市では、この通過交通の分散化を図り中心市街地への交通集中を軽減するため、中大野中河内線といった環状道路をはじめとした幹線道路の整備を進めているところであります。

この国道50号の市道への移管による駐車帯の設置につきましては、現在の交通量においては4車線の確保が必要でありますとともに、交通管理者である警察からも交通混雑や危険性などの課題が示されている状況でございます。なお、道路は道路法や道路交通法等の関係法令に則って管理されており、管理者が代わりましても道路使用許可等の基準は同様のものであり、国道50号は、引き続き直轄国道としての改善が望まれる区間もあるため、当面は国にて管理することが適当と考えておりますのでご理解願います。

[担当 建設計画課]

### 3. 国道50号線「新原三差路～自由が丘交差点」区間の試験的な片側一車線への変更について要望します

#### 【回答】

ご要望のありました国道50号新原三差路から自由ヶ丘交差点の区間の歩道の拡幅や交差点への右折レーンの設置につきましては、道路の景観や歩道の安全性、快適性、防災性の向上を図るうえで有効な手段であると認識しております。

ご要望の片側二車線から片側一車線への変更は、当該区間の交通量が多いことから現時点では困難です。将来都市計画道路3・3・2号線などの環状道路が整備され、市中心部への交通流入量が減少した段階で検討させていただきたいと考えております。

なお、現在国道50号では、大塚町から石川2丁目までの区間と大工町3丁目から水戸駅までの区間で電線地中化が進められておりますので、要望のありました区間の歩道の拡幅や電線地中化や交差点への右折レーンの設置につきましては、道路管理者である国土交通省に対し働きかけてまいります。

[担当 建設計画課]

### 4. 県道下入野水戸線の道路拡幅の早期実現について要望します

#### 【回答】

ご要望のありました県道下入野水戸線「酒門6差路付近道路拡幅」につきましては、本市における重要路線の1つである水戸勝田環状道路を構成する都市計画道路3・3・2号中大野中河内線（酒門工区）として、主要地方道水戸神栖線（旧国道6号）から国道6号までの区間を振り替えて整備する計画となっております。

平成21年度末に都市計画道路3・3・1号線から都市計画道路3・3・16号線の区間が開通



し、元吉田町古宿地内から都市計画道路3・3・16号梅香下千波線までの1,650mが整備されております。

ご要望のありました区間につきましては、事業主体である茨城県が、平成22年夏に、事業に関する説明会を開催したところであり、現在事業に向けた各種調整を行っていると同っております。市といたしましても、引き続き早期整備に向け、働きかけてまいります。[担当 建設計画課]

#### 5. 新川の本格的改修並びに下市地区全般の排水整備について要望します

##### 【回答】

公共事業については、近年の公共事業費の削減により、短期間で効果を発現させるべき施策と、中長期間を要しても整備すべき施策を一層明確にするとともに、最大限に既存ストックを活用したメリハリのある整備を進めていく必要があります。

ご要望のありました新川の改修につきましては、より安全で快適な環境をつくるため、早期の改修整備について茨城県に対し継続して要望しております。このような中、本年度茨城県において、堆積した土砂や崩れた護岸により低下した流下能力を回復するため、最上流部における土砂の撤去を実施し、また、崩落した護岸の改修を行う予定と同っております。

また、短時間で局所的な都市型集中豪雨により発生する浸水被害を最小限にとどめるため、関係部署と連携しながら、短期的に効果を発揮できるようゴミや土砂の撤去などを行い、既存ストックを十分に活用した施策を講じるなどの対応を図っていきたいと考えております。

街を災害から守るためには、ゴミや落ち葉の撤去など、地域の方々と一丸となった施策が必要不可欠でありますので、貴会におかれましても、これらの仕組みづくりに御協力いただきますようお願いいたします。 [担当 建設計画課, 下水道管理課]

#### 6. 観光案内板の設置について要望します

##### 【回答】

観光案内板の設置につきましては、利用者からの要望や道路状況など踏まえ水戸市サインマニュアルに沿って整備を進めております。

国、県等関係機関に施設整備の働きかけを行うとともに、協力して観光地としての環境向上に努めてまいります。 [担当 観光課]